

## ■ クルムス・イーグルスが3連覇。絆ボウル2024

第16回北海道・東北社会人アメリカンフットボール王座決定戦・絆ボウル2024（北海道社会人連盟、東北社会人連盟主催）が11月3日、江別市の札幌学院大グラウンドで行われ、クルムス・イーグルス（北海道代表）が14-12で盛岡ラウディーズ（東北代表）に競り勝ち、大会3連覇を飾った。クルムスは来年1月に行われるJPF東日本代表決定戦で東日本支部（関東）代表と対戦する。



昨年と同じ顔合わせとなった絆ボウルは、キックオフの午前11時の気温が10.9度、時折小雨も降るあいにくのコンディションの中の戦いとなった。

序盤は両チームの守備が力を発揮した。第1Q、盛岡の最初の攻撃シリーズでクルムスのDB石井渚（北海道大出身）がいきなりインターセプトを決めて攻撃権を奪うと、盛岡も3分後にインターセプトのお返し。第1Qは0-0で終了した。

クルムスが先制したのは第2Q9分。LB中平駿也（室蘭工業大出身）のインターセプトで得た敵陣9ヤードからの攻撃で、RB榊琢也（北海道大出身）が3連続キャリア。最後は6ヤードを駆け込んでTDを奪った。RB/K七海智貴（帯広畜産大出身）のキックも決まり7-0とした。

クルムスの追加点は第3Q6分。キックオフレシーブから始まった後半最初の攻撃シリーズで、相手のパントリターン捕球ミスも突いて敵陣33ヤードへ。ここからRB七海のラン、QB井上友稀（法政大出身）からWR刀根賢太（北海道大出身）へのパスでボー

ルを進め、最後はR B七海の10ヤードランで締めくくった。キックも七海が決めて、14-0とリードを広げた。

ここからはクルムスの粘りの守備が続いた。第3Q11分に、盛岡にパスでTDを許すが、トライのキックをブロックして14-6。第4Q10分に、再び盛岡にパスでTDを奪われるが、同点を狙ったトライのパスをD B石井が値千金の好タックルでゴールラインを割らせなかった。クルムスが14-12で逃げ切った。



監督代行を務めたクルムスのR B葛西貴哲（札幌国際大出身）は「3連覇と、その次の東京の試合に勝つために1年間かけて準備してきた。今年加わった北海道大出身の5人など、若い力が期待にこたえた」と粘り勝ちをたたえた。先制点のきっかけとなったインターセプトなど守備のかなめとして最優秀選手賞（MVP）に選ばれたL B中平は「あの場所でインターセプトできたのが良かった。厳しい試合になったが、ラン守備が良かった。今年は全国優勝を目指したい」と宣言した。

個人表彰は次の通り。

▽最優秀選手賞 中平駿也（クルムス、室蘭工業大出身）▽優秀選手賞 金岡潤（盛岡、名城大出身）▽ベスト攻撃スライン 畑中匠（クルムス、大阪教育大出身）▽ベスト攻撃バックス 川端諒（盛岡、金沢大出身）▽ベスト守備ライン 大山敦武（盛岡、秋田大出身）▽ベスト守備バックス 富田克也（クルムス、室蘭工業大出身）▽GPS賞 斉藤瑞季（盛岡、岩手大出身）

（北海道学連広報委員 塚田博）